

**平成29(2017)年度**

# **事業計画書**

**公益財団法人 群馬県長寿社会づくり財団**

# 平成29年度 事業計画

## 〈事業展開の基本方針〉

平成28年10月1日現在の群馬県の総人口は、196万6千人で前年よりも6千5百人ほど減少し、今後も少子高齢化による人口減少傾向が続くと考えられています。

一方、65歳以上の人口は55万2千人と総人口の28%となり、老年人口、老年人口割合共に過去最高となっています。

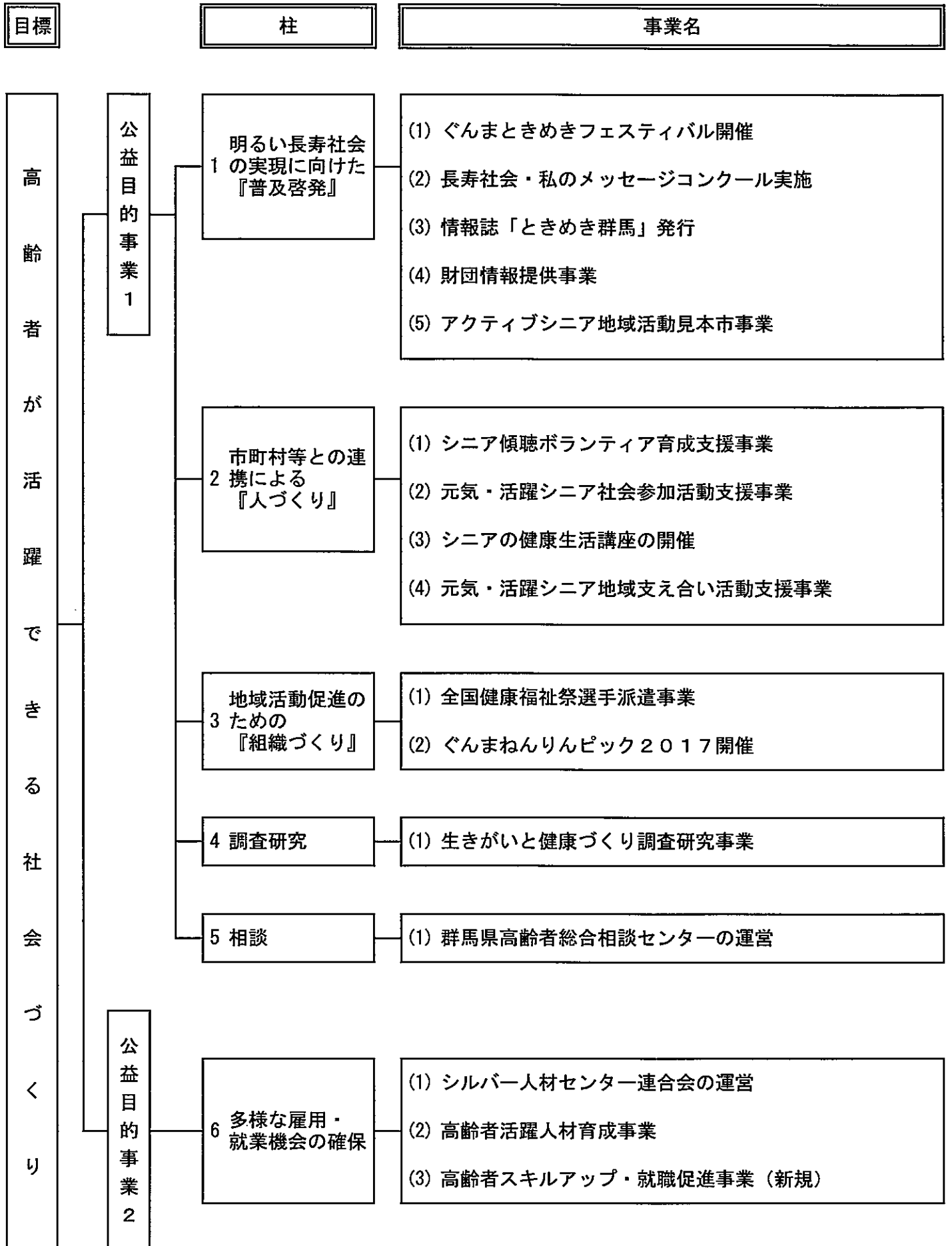
しかしながら、現在の高齢者は10～20年前と比較すると、加齢に伴う身体的な機能変化が現れるのが5～10年遅くなっていると言われており、これを踏まえて日本老年学会及び日本老年医学会では、現在の65歳以上とされている高齢者の定義を65～74歳を「准高齢者」、75～89歳を「高齢者」、90歳以上を「超高齢者」と呼ぶよう提言しています。

また、要介護状態になっても、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを最後まで続けることができるよう、医療、介護、介護予防、住まい、生活支援が一体的に提供される「地域包括ケアシステム」の構築が市町村を中心に現在進められています。

このような中で、高齢者が長い人生で培ってきた豊富な知識と経験、知恵を活かし、「支えられる側」から「支える側」として、介護予防や生活支援で「地域包括ケアシステム」の一翼を担うとともに、ボランティア活動や就労等様々な分野で活躍していただくことが益々期待されているとともに、元気な高齢者が、できるだけ長くその健康を維持し地域で活躍することが健康寿命の更なる延伸と地域の活性化に不可欠となっています。

群馬県長寿社会づくり財団では、「高齢者が活躍できる社会づくり」を目標に掲げ、高齢者の自主的な社会参加、雇用・就業及び能力活用、高齢者の生きがいと健康づくりを推進するため、「普及啓発」、「人づくり」、「組織づくり」、「調査研究」、「相談」、「多様な雇用・就業機会の確保」の6つの柱に沿って、市町村や各種関係機関・関係団体との協働による事業実施を推進するとともに、群馬県と一体となって明るい長寿社会の実現に向けて引き続き取り組んでまいります。

# 平成29年度 事業体系



# 1 明るい長寿社会の実現に向けた『普及啓発』

## (1) 第26回ぐんまときめきフェスティバル開催 [予算額 3,425千円]

シニア世代等に創作活動の発表の場を提供し、社会参加と生きがいを推進するため、美術展、俳句大会、講演会を開催します。

美術展は、全国健康福祉祭美術展の本県代表作品を選考します。

ア 開催日 3月 4日間

イ 場所 群馬県庁県民ホール、昭和庁舎及び群馬会館

ウ 内容

(ア) ときめき美術展(日本画、洋画、彫刻、工芸、書、写真)

(イ) ときめき俳句大会

(ウ) ときめき講演会

エ 参加者数 2,000人

## (2) 長寿社会・私のメッセージコンクール実施 [予算額 764千円]

明るく活力のある長寿社会に向けての気運を盛り上げるため、小学生からシニア世代までの方々に、長寿社会について感じたこと、地域活動、就業等を通じて感じたことや豊かで明るく生活することについて考えたことをメッセージとして募集し、優秀作品を選考のうえ公表します。

ア 募集期間 7月～9月上旬

イ 表彰式 3月

ウ 場所 群馬会館

エ 参加者数 2,000人

## (3) 情報誌「ときめき群馬」発行 [予算額 1,916千円]

シニア世代の生きがいをづくり、健康づくり及び社会参加に関する情報や、個人、団体及び財団の事業内容を紹介した情報誌を作成し、市町村等関係機関などに配布することにより、明るく活力のある長寿社会の実現に向けての意識啓発を図ります。

ア 規格 A4判 16ページ(夏、冬号)、24ページ(春号)、フルカラー

イ 発行回数 年3回

ウ 配布部数 各号13,500部

エ 配布先 県、市町村、医療機関、老人クラブ、図書館、公民館等

(4) 財団情報提供事業 [予算額 464千円]

ホームページやSNSを多用しながら、従来のPR用パンフレットと併せて市町村や県民へ当財団の事業内容を適時提供します。

ア 内容

(ア) PR用パンフレット「事業案内ときめき」(県民向け)作成 4,000部

(イ) PR用パンフレット「事業案内ときめき」(関係団体向け)作成 1,000部

(ウ) ホームページ更新 当財団の概要及び事業等の情報の更新

(エ) ツイッターを通じて事業等の最新情報を発信

(オ) 市町村等関係団体との事業連携についてのアンケート

・内容 市町村等に対し、事業の協働実施についてのアンケートをする

・配布先 市町村、市町村社協、各地域包括支援センター

(5) アクティブシニア地域活動見本市事業 [予算額 375千円]

元気に活躍するシニアを中心とするグループを紹介し、活動参加を呼び掛けます。

ア 開催日 7月28日(金)・29日(土)

イ 場所 イオンモール高崎 1階セントラルコート

ウ 内容 活動紹介・体験、パネル展示

## 2 市町村等との連携による『人づくり』

### (1) シニア傾聴ボランティア育成支援事業 [予算額 1,315千円]

悩みを持つ人の話し相手となり、自分自身で悩みを克服できるよう手助けを行う傾聴ボランティア活動を支援するため、養成講座及びスキルアップ講座を伊勢崎市、渋川市、富岡市、みどり市、中之条町と協働で開催するとともに、情報提供を行います。

#### ア 養成講座開催日、場所、定員

(ア) 渋川会場 6月15日(木)、22日(木)、29日(木)、渋川ほっとプラザ、42名

(イ) みどり会場 11月2日(木)、9日(木)、16日(木)、笠懸公民館、42名

(ウ) 前橋会場 12月1日(金)、4日(月)、8日(金)、県社会福祉総合センター、42名

#### イ スキルアップ講座開催日、場所、定員

(ア) 富岡会場 5月16日(火)、富岡市生涯学習センター、51名

(イ) 中之条会場 7月5日(水)、バイテック文化ホール、51名

(ウ) 伊勢崎会場 9月27日(水)、緋の郷、51名

#### ウ 情報提供

市町村及び社会福祉協議会と連携し、傾聴ボランティア活動の情報を収集し提供する。  
また、傾聴ボランティアグループ一覧を作成し、講座修了者へ配りグループへの参加及びボランティア活動を促します。

### (2) シニアの健康生活講座 [予算額 252千円]

誰もが迎える高齢期を、健やかに過ごすために必要な知識・技術を身につけ、自らの介護予防・健康づくりに役立てるとともに、日常生活や地域のボランティア活動に役立てることで、高齢者の社会参加・社会貢献を促進するための講座を板倉町、邑楽町と協働で開催します。

#### ア 開催日、場所

(ア) 板倉会場 5/18(木)・25日(木)・6/1(木)

(イ) 前橋会場(自主事業) 6/12(月)・19日(月)・21日(水)

(ウ) 邑楽会場 11月の3日間

#### イ 定員 各30名

(3) 元気・活躍シニア社会参加活動支援事業 [予算額 361千円]

仕事中心の生活から地域中心の生活に移行するシニア層が、スムーズに地域での生活に移行できるように、退職後の生活に関する講演、地域活動の紹介・体験・交流会を開催するほか、グループ活動の情報提供及び交流の調整を行います。

ア 退職後の生活に関する講演会と地域活動の紹介・体験・交流会の開催

(ア) 開催日 11月

(イ) 場 所 板倉町

(ウ) 定 員 30人

イ シニアグループ及び社会参加活動希望者の登録

ウ 登録者への助言、情報提供、交流の調整

エ グループ活動情報の提供

当財団ホームページにシニアグループの情報を掲載します。

(4) 元気・活躍シニア地域支えあい活動支援事業 [予算額 326千円]

元気な高齢者の社会参加及び地域の支えあい活動の担い手としての活躍を推進する一方で、要支援者の増加を抑制し、高齢者が元気でいつまでも社会との関わりを持つことができる、明るく活力のある長寿社会の実現を目指し、介護予防推進のボランティア活動等に役立つ実用的な講座を渋川市、富岡市、玉村町、中之条町と協働で開催します。

ア ハンドケアセラピーリーダー養成講座

温かい手のぬくもりを通して高齢者とのふれあいのきっかけづくりに最適なハンドケア(手、爪、指先からひじまでの手入れ)の手法とその効果を習得します。

今年度は、平成27年度、28年度に養成講座を受講された方を対象にスキルアップ講座を開催します。

(ア) 富岡会場

a 開催日 5月22日(月)

b 場 所 富岡市生涯学習センター(富岡市)

c 定 員 51人

(イ) 中之条会場

a 開催日 7月

b 場 所 バイテック文化ホール(中之条町)

c 定 員 51人

イ ハンドケアセラピーリーダースキルアップ講座(自主事業)

a 開催日 8月1日(火)、8日(火)

b 場 所 群馬県美容専門学校

c 定 員 48人

ウ 脳トレーニングリーダー養成講座

レクリエーションを活用し、高齢者が楽しみながら脳を鍛え、活性化につながる手法とその効果を習得します。

(ア) 渋川会場

- a 開催日 7月11日(火)、14日(金)
- b 場所 渋川ほっとプラザ
- c 定員 30名

(イ) 玉村会場

- a 開催日 5月～12月
- b 場所 玉村町
- c 定員 30人



### 3 地域活動促進のための『組織づくり』

(1) 全国健康福祉祭選手派遣事業 [予算額 4,883千円]

シニア世代を中心とする国民の健康の保持・増進、社会参加、生きがいの高揚等を図り、ふれあいと活力のある長寿社会の形成に寄与するために開催される「第30回全国健康福祉祭あきた大会（ねんりんピック秋田2017）」に群馬県選手団を派遣します。

ア 開催期間 9月9日（土）～12日（火） 4日間

イ 場 所 秋田県内各地

ウ 選手団 150人

エ 参加種目 25種目

卓球、テニス、ソフトテニス、ソフトボール、ゲートボール、ペタンク、ゴルフ、マラソン、弓道、剣道、水泳、グラウンド・ゴルフ、ラグビーフットボール、サッカー、ソフトバレーボール、ウォークラリー、太極拳、軟式野球、ダンススポーツ、マレットゴルフ、パークゴルフ、ミニテニス、囲碁、将棋、健康マージャン

(2) ぐんまねんりんピック2017開催 [予算額 2,814千円]

スポーツや文化活動を通じて、シニア世代の健康の保持増進と交流、生きがいづくりを推進するため開催します。

ア 開催日 10月27日（金）

イ 場 所 群馬県総合スポーツセンター他

ウ 参加者数 2,000人

エ 競技種目 17種目

ゲートボール、卓球、ペタンク、テニス、ソフトテニス、ソフトボール、弓道、剣道、グラウンド・ゴルフ、水泳、マラソン、なぎなた、太極拳、囲碁、将棋、健康マージャン、新規種目（調整中）

## 4 調査研究

### (1) 生きがいと健康づくり調査研究事業 [予算額 525千円]

当財団の事業参加者を対象に、シニア世代の社会参加の実態についてアンケートを行い、社会参加が健康長寿や生きがいにつながる実態についてまとめ、公表します。

- ア 調査時期 7～9月
- イ 調査対象 平成28年度の当財団事業参加者
- ウ 調査方法 郵送による調査
- エ 調査事項 健康状態、日常生活、生活満足度、社会参加活動の実態 他

## 5 相談

### (1) 高齢者総合相談センター運営 [予算額 2,027千円]

高齢者に関する様々な心配ごとや悩みごとについて、高齢者本人やその家族などからの相談に応じるとともに、市町村等が行う高齢者に関する相談事業を支援します。

#### ア 相談

##### (ア) 相談種別・日時

- a 法律専門相談（弁護士）  
金曜日及び第2、4水曜日 14時～16時
- b 高齢者一般相談（職員）  
月曜日～金曜日 9時～17時

##### (イ) 費用 無料

(ウ) 相談方法 電話、来所、手紙のいずれも可（相談内容は秘密厳守します）

##### (エ) その他

- a 法律専門相談は予約優先で相談時間は1回30分
- b 土、日、祝日、年末年始は休み。

##### (オ) 相談窓口・問い合わせ先

〒371-8517 前橋市新前橋町13-12（群馬県社会福祉総合センター5階）  
群馬県長寿社会づくり財団内 電話 027-255-6100  
FAX 027-255-6166

#### イ 貸出

軽スポーツ用具などを無料で貸出を行います。

- (ア) 軽スポーツ用具（スカイクロス、ペタンク）
- (イ) 高齢者疑似体験用具
- (ウ) 健康マーじゃん道具

## 6 多様な雇用・就業機会の確保

### (1) シルバー人材センター連合会運営 [予算額 578,866千円]

「自主・自立、共働・共助」を基本理念として、群馬労働局、群馬県並びに市町村と連携を密にして、県内各地において、シニアのための臨時的、短期的かつ軽易な業務の就業機会の確保、提供を行っているシルバー人材センターの取組を支援します。

#### ア 普及啓発事業 [予算額 4,309千円]

シルバー人材センター事業の理念・仕組み等を広く県民に周知するための普及啓発事業を推進し、センター事業の活性化を図ります。

- ・内 容 ① 「シルバーの日」の事業推進
- ② 情報誌「ときめき群馬」等を活用したセンター事業紹介
- ③ 各種イベント等でのセンター事業紹介
- ④ リーフレット等普及啓発資料の作成、配布

#### イ 安全・適正就業推進事業 [予算額 3,071千円]

シルバー人材センター事業の実施にあたっては、会員がシニアであることから、就業の安全確保が最優先の課題になっています。特に事故が多発している作業について、安全就業対策の徹底を図るとともに、各シルバー人材センターの安全・適正就業意識の高揚を図ります。

- ・内 容 ① 安全・適正就業委員会の開催 2回(6月、2月)
- ② 安全・適正就業担当者研修会の開催 2回(7月、1月)
- ③ 複数のセンター等が実施する安全・適正就業講習会に対する支援(随時)
- ④ 安全・適正就業パトロール指導の実施(7月～12月)
- ⑤ 安全・適正就業作業ガイドラインの実施促進
- ⑥ センターで実施する安全講習会への参加、指導
- ⑦ 事故の現地調査指導(原因分析～対策指導)
- ⑧ 重篤事故(潜在事故を含む)等の再発防止対策の実施推進
- ⑨ 安全・適正就業啓発資料の作成、配布
- ⑩ 安全・適正就業推進大会の開催(新規)
- ⑪ 安全就業優良センターの表彰

ウ 就業開拓等事業 [予算額 6,135千円]

シルバー人材センター会員の経験、知識、技術、技能を活かせる仕事を確保するため、新しい就業分野を開拓するなど、就業機会の拡大を図ります。また、地域で活躍したいという意欲と能力のある高齢者に対し入会を促進し、会員拡大を図ります。

- ・内容 ① 就業開拓等委員会の開催 (6月、2月)
- ② 就業開拓等推進巡回訪問の実施 (7月～12月)
- ③ 就業開拓等の推進
- ④ 企業等への訪問によるシルバー事業紹介
- ⑤ 適正就業(法令遵守)の徹底
- ⑥ 独自事業の推進
- ⑦ 地域団体との連携
- ⑧ 就業開拓等啓発資料の作成、配布

エ 交流研修事業 [予算額 636千円]

シルバー人材センター事業の円滑な運営及びセンター役職員の資質向上、活性化を図るため、各種研修を開催します。また、センターが会員を対象に実施する技能講習会に対して支援を行います。

- ・内容 ① 生活支援サービス担当者研修 (10月)
- ② 役職員研修 (12月)
- ③ 職員研修 (11月)
- ④ センターが実施する技能講習会に対する支援(随時)

オ 指導相談事業 [予算額 7千円]

シルバー人材センター事業の適切な運営を図るため、(公社)全国シルバー人材センター事業協会と連携してセンターに対し指導を実施するとともに、センターからの相談に随時対応します。

カ シルバー人材センターへの交付金等の支出 [予算額 178,613千円]

シルバー人材センターの機能強化とこれを支える自主的運営基盤の確立を図るため、国庫補助金及び県費補助金をシルバー人材センターへ交付します。

キ 調査研究事業 [予算額 766千円]

シルバー人材センター事業を推進していくうえで必要な情報や資料等を収集・分析し、センターに送付するほか、関係機関に情報提供を行います。

ク センター設置促進 [予算額 - ]

群馬県、群馬労働局及び関係町村と連携のもとシルバー人材センターの未設置地域の解消を目指すとともに、小規模センターの連合加入を促進します。

- ・未設置町村 草津町、川場村
- ・連合加入促進 榛東村、上野村

ケ シルバー派遣事業運営 [予算額 338,168千円]

高齢者の就業機会の拡大につなげるため、請負や委任による働き方では対応できなかった作業など、多様な働き方が可能となる一般労働者派遣事業を実施します。

- ①シルバー派遣事業担当者研修会
- ②教育訓練 (随時)
- ③シルバー派遣事業資料の作成・配布
- ④シルバー派遣事業支援 (4月～3月)

コ 高齢者職業紹介事業 [予算額 7千円]

臨時的かつ短期的又はその他の軽易な業務に係る雇用を希望する高齢者の多様なニーズに応えるため、職業紹介事業を実施します。

サ 中長期計画に係る目標数値の策定(新規) [予算額 - ]

平成30年度～平成34年度に向けて新たな目標数値を策定し、PDCAサイクルの目標管理による会員拡大、地域ニーズ・高齢者ニーズに沿った就業開発・開拓の促進を行います。

(2) 高齢者活躍人材育成事業 [予算額 25,427千円]

シルバー人材センターが、地域高齢者にサービス業等の人手不足分野や、介護、育児等の現役世代を支える分野で就業する機会を提供するために、地域高齢者が当該分野での就業に必要な能力を身につける技能講習等を実施します。

(3) 高齢者スキルアップ・就職促進事業(新規) [予算額 21,727千円]

働く意欲のある高齢者が、年齢にかかわらず生涯現役で働くことができる社会の実現のため、企業等に対する高齢者雇用の必要性、メリット等の周知・広報や、働く意欲のある55歳以上の高齢者に、再就職に必要な能力を身につける技能講習及び面接会等を実施します。